

平成 27 年度 B 問題に挑戦

小学校第 5 ・ 6 学年

算 数

富山県教育委員会

算 数

年 組 番 氏名

1 2015年3月14日、北陸新幹線が開業しました。

- (1) いずみさんは、A小学校と、となりのB小学校で、夏休みの前と後では北陸新幹線に乗った人がどのように増えたのかを調べてみようと思い、下のような表にまとめました。夏休みの前と後で、増え方が大きいのは、どちらといえますか。

	夏休み前	夏休み後
A小学校	120	150
B小学校	60	90

上の表を見て、いずみさんは、次のように言いました。



いずみ

北陸新幹線に乗ったことのある人数は、A小学校でもB小学校でも30人ずつ増えているけど…。

でも、増える前的人数がちがうよ。



あきら


新幹線に乗った人数は、A小学校とB小学校それぞれで、夏休み前の人数をもとにすると、夏休み後には何倍になっているか調べます。A小学校とB小学校では、増え方が大きいのは、どちらといえますか。

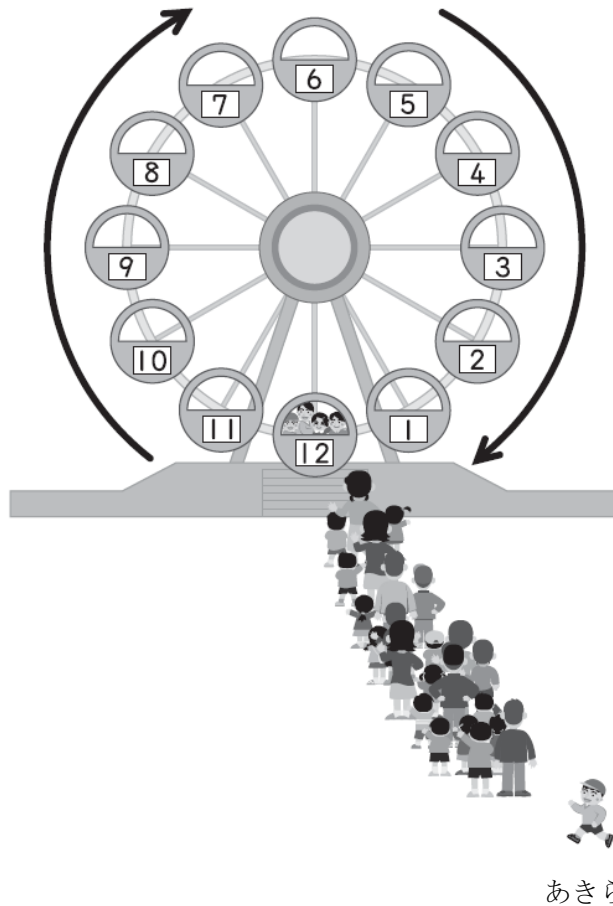
次の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 A小学校の増え方が大きい。
- 2 B小学校の増え方が大きい。
- 3 A小学校とB小学校の増え方の大きさは同じ。

(2) あきらさんは、北陸新幹線に乗って、遊園地に行きました。

遊園地には、下の図のような観覧車かんらんしゃがあります。

観覧車のゴンドラは全部で12台あり、図の中の矢印（  ）の向きに動いています。



あきらさんは、観覧車に乗ろうとして、行列の最後になりました。

そのとき、行列の先頭の4人が、 **12** のゴンドラに乗りました。

まだ、あきらさんの前には、24人ならんでいます。

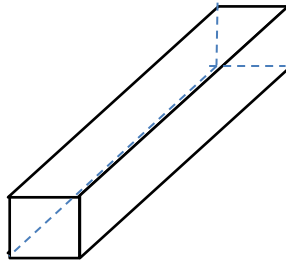
ゴンドラ1台には、4人まで乗ることができます。

あきらさんは、いちばん早くて、 **1** から **12** までのどのゴンドラに乗ることができますか。答えを書きましょう。また、その求め方を言葉や式を使って書きましょう。

(3) いずみさんとあきらさんのクラスでは、交流している幼稚園の友達に新幹線の絵を描いた箱を作ってプレゼントすることにしました。箱の形は、直方体です。

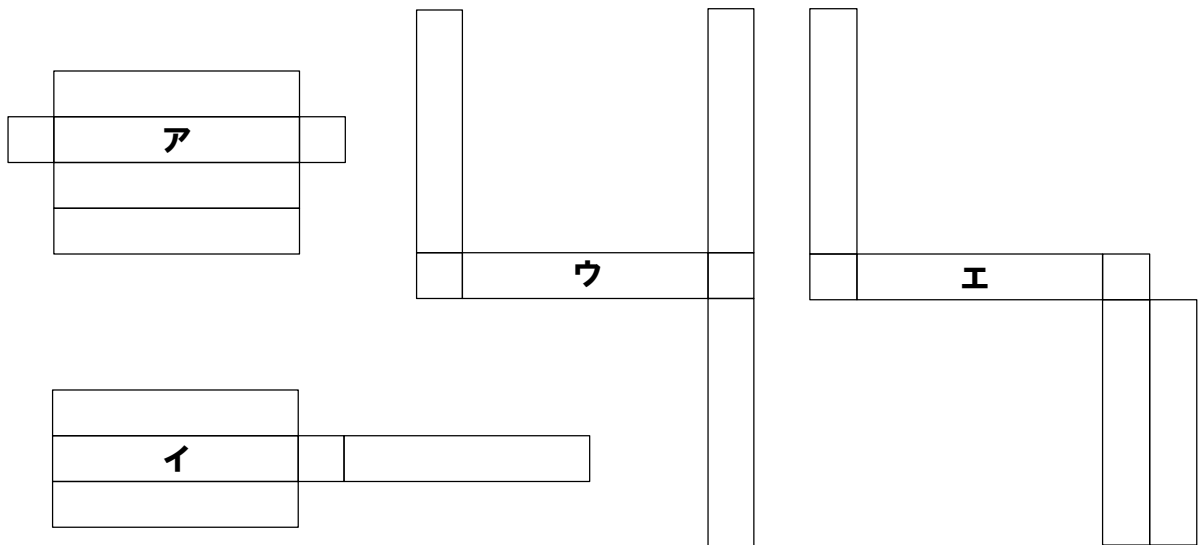
下の **ア**~**エ**の展開図の中で、見取り図のような直方体にならないものは、どれでしょうか。解答用紙の表に、直方体になる図には○、ならない図には×を書きましょう。また、ならない図には理由を書きましょう。

【見取り図】

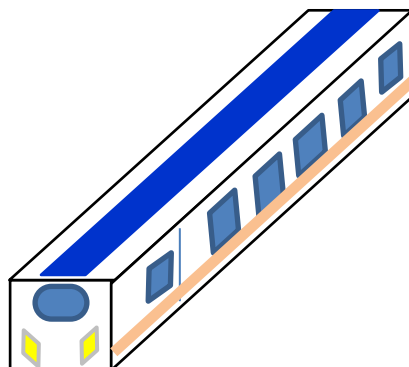


※ すべて囲まれている形とする。

【展開図】



【完成予想図】



[解答用紙]

学年	組	出席番号	名前

1

(1)	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <p>(わけ)</p>		(全正)																				
(2)	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <p>のゴンドラ</p> <p>(求め方)</p>		(全正)																				
(3)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">展開図</th> <th style="width: 20%;">直方体になる○ならない×</th> <th colspan="2" style="width: 65%;">直方体にならないわけ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ア</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">イ</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ウ</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エ</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>			展開図	直方体になる○ならない×	直方体にならないわけ		ア				イ				ウ				エ			
展開図	直方体になる○ならない×	直方体にならないわけ																					
ア																							
イ																							
ウ																							
エ																							

[解答用紙]

学年	組	出席番号	名 前

1

(1)	(全正)															
	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">2</div> <p>(わけ) 《解答例》 A 小学校の増え方は $150 \div 120 = 1.25$ (倍) B 小学校の増え方は $90 \div 60 = 1.5$ (倍) B 小学校の増え方が大きいといえる。</p>															
(2)	(全正)															
	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">7</div> のゴンドラ <p>(求め方) 《解答例》 あきらさんの前に 24 人ならんでいて、ゴンドラ 1 台に 4 人まで乗ることができるので、 $24 \div 4 = 6$ あきらさんが乗るのは、いちばん早くて次のゴンドラになるので、 $6 + 1 = 7$</p>															
(3)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">展開図</th> <th style="width: 20%;">直方体になる○ならない×</th> <th style="width: 65%;">直方体にならないわけ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ア</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">イ</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td>面の数が 6 つ必要なのに 5 つしかないから。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ウ</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td>面が重なるところがあり、5 つしか面ができないから。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	展開図	直方体になる○ならない×	直方体にならないわけ	ア	○		イ	×	面の数が 6 つ必要なのに 5 つしかないから。	ウ	×	面が重なるところがあり、5 つしか面ができないから。	エ	○	
	展開図	直方体になる○ならない×	直方体にならないわけ													
	ア	○														
	イ	×	面の数が 6 つ必要なのに 5 つしかないから。													
	ウ	×	面が重なるところがあり、5 つしか面ができないから。													
エ	○															